

私と石けんそして犬の石けんへ

ペット資格部会 緒方優佳

私が石けんと出会ったきっかけは、髪をなるべく痛めないシャンプーがないかなと思ったところから始まりました。子供の時から遺伝のせいか若白髪があり、歳を重ねるにつれ量が増えてきました。白髪染めのサイクルも1ヶ月では追いつかず、月2ペースになると髪の痛みが気になるようになり、シャンプーの事についていろいろ調べていくうちに、「石けんが良さそう」というところに行き着きました。それからすぐにHSAの資格制度があることを知り、勉強を始め資格を取得しました。

その頃、我が家では6匹のヨークシャーテリアと一緒に過ごしていました。シャンプーはほとんどトリマーさんをお願いしていましたが、時々家で洗う時は市販のシャンプーを使っていました。石けんについて学ぶにつれ、成分についても気になるようになりました。もちろん、犬のシャンプーの成分についても気になるようになってきました。まずは私自身が石けんで髪を洗い、殆ど

の方が石けんシャンプーで挫折してしまう原因のキシミ、ゴワつき感を乗り越えた後には髪の毛自体が強くなった気がします。そうすると、皮膚と被毛を洗う犬達にも石けんがよいのではないかと思います。そのタイミングで協会のペット委員会→ペット資格制度部会で活動させていただくことになりました。そして現在まで石けんの事はもちろん、犬の生態についてもたくさん学ぶことができ、年齢や個体に合った数々の犬の石けんを作ってきました。我が家の犬達も今では2匹になり、ここ数年は悲しい別れを経験しました。今元気でいる犬達も今年で13歳になり、いろいろなトラブルもありますが、年齢や個々の皮膚・被毛に合った石けんを作り続け、清潔を保ちつつ出来るだけ長く一緒に過ごせたらと願っています。今後は自分のための髪にいいシャンプー作り販売と、現在教室の片隅で販売している犬の石けんをもっと広めることが目標です！！

とっておきレシピ：馬油と火山灰シラス石けん

<レシピ>

馬油	100g
パーム核油	55g
ひまわり油	50g
オリーブ油	35g
パーム油	30g
ひまし油	20g
ホホバ油	10g

精製水	100g
苛性ソーダ	38g
火山灰シラス	2g
小豆パウダー	1g

<精油>

ラベンダー	20滴
オレンジスイート	10滴
ジンジャー	5滴

<作り方>

- ①容器にホホバ油以外のオイル(精油は1週間程前に馬油に入れておく)を入れ約45℃に温める。
- ②苛性ソーダ水溶液を約45℃に冷ます。
- ③①に②を合わせブレンダーで撹拌していく。
- ④トレースが出たらホホバ油を入れ混ぜる(スーパーファット)
- ⑤④大さじ2を紙コップに入れ、少量の水に溶かした小豆パウダーを入れ混ぜる。
- ⑥残りの素地に火山灰シラスを入れブレンダーで軽く撹拌する。
- ⑦⑥を型に注ぎ入れ、そこに⑤を所々注ぎ入れ割り箸などで模様を付ける。
- ⑧24時間保温。その後、型出しをして1か月程乾燥させる。



「馬油」のお話

今回は地元熊本県産の馬油を多めに配合しました。馬油は人の皮膚と非常に相性がよいため角質層に素早く浸透し、肌馴染みがよいとされています。また、皮膚細胞の再生に役立つパルミトレイン酸を含みます。水分の維持を助けるため乾燥肌の犬にも適しています。また、犬の肉球クリームにもオススメです。



火山灰シラス

鹿児島島の火山灰(シラス)を高温加熱して発砲させた微粒子。粒子が小さくなめらかなので吸着力が高いです。天然ミネラル成分がお肌をなめらかに整えます。

小豆パウダー

むくみの解消をサポート。体内の老廃物を外に排出する助けがあるので、デトックス効果も期待できます。

レシピについて：今年で13歳になる我が家のヨークシャーテリア向け(シニア向け)に作りましたが、幅広く使えるレシピでもあります。皮膚トラブルはあまりないですが、年齢とともに少しイボが出来始めました。皮膚はどちらかというと乾燥気味なので、クリーミーな泡立ちの馬油石けんで洗浄すると適度に潤いを保てます。オプションには毛穴の汚れを吸着する火山灰シラス、デトックス効果が期待できる小豆パウダーを使用しました。ホホバ油をスーパーファットにすると、被毛をコーティングすることでブラッシングの際の静電気が軽減されるように思います。精油はリラックスできる香りでもあり、我が家の犬達が好きなラベンダーとオレンジスイート、それにシャープな香りのジンジャーを少量ブレンドしました。

